

履 修 方 法

I. 通則

1. プロジェクト研究は、入学後、許可されたものを履修すること。
2. 学生は、プロジェクト研究を担当する教員を指導教員とし、論文等の作成、研究一般については、その指導に従うこと。
3. 前項のほか、指導教員が必要と認めるときは、所定の単位外に指定される授業科目も履修すること。

II. 修士課程

【2003年度～2005年度入学者】

<国際関係学専攻>

1. 修士課程の修了要件は、研究科に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた学生については、30単位以上の修得を条件として1年以上の在学で足りるものとする。
2. 修了に関する必要単位数は、通常次の区分によって修得すること。

専 攻	プロジェクト研究	発展科目	基礎共通科目	計
国際関係学専攻	8	22		30

3. プロジェクト研究は2年間で8単位の修得を標準とする。
4. 国際関係学専攻の学生は、授業科目として、発展科目と基礎共通科目を修得することとする。また、国際経営学専攻に配当される必修基礎科目および選択基礎科目を履修することも可能である。

【2006年度入学者】

<国際関係学専攻>

1. 修士課程の修了要件は、研究科に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた学生については、30単位以上の修得を条件として1年以上の在学で足りるものとする。

2. 修了に関する必要単位数は、通常次の区分によって修得すること。

プログラム	国際関係学専攻 指定科目		発展 科目	国際経営学専攻 指定科目		他 箇所 設置 科目	プロジェクト 研究・修士論文	計
	共通基 礎科目	専門基 礎科目		前提科目	必修科目			
国際関係学専攻 MAプログラム	22						8	30

3. プロジェクト研究は2年間で8単位の修得を標準とする。
4. 国際関係学専攻の学生は、授業科目として、国際関係学専攻指定科目と発展科目を修得することとする。また、国際経営学専攻に配当される科目を履修することも可能である。

【2007年度以降入学者】

＜国際関係学専攻＞

1. 修士課程の修了要件は、研究科に2年以上在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた学生については、30単位以上の修得を条件として1年以上の在学で足りるものとする。
2. 修了に関する必要単位数は、通常次の区分によって修得すること。

プログラム	共通基 礎科目	専門基 礎科目	発展科目	他箇所設置 科目	プロジェクト研 究・修士論文	計
修士課程 MAプログラム	22				8	30

3. プロジェクト研究は2年間で8単位の修得を標準とする。
4. 国際関係学専攻の学生は、授業科目として、共通基礎科目・専門基礎科目・発展科目を修得することとする。

Ⅲ. 博士後期課程

博士後期課程の修了要件は、3年以上在籍し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格するものとする。合格者には「博士（学術）」の学位を授与する。